



広重版画より 三島 朝霧

## 第2332回例会

2022.9.8曇

司会 杉崎亮慈君

ロータリーソング 「我等の生業」  
指揮 野田和秀君

会長挨拶 会長 花房孝光君

コロナの感染者数はこのところ減少傾向にあり、国の施策も経済再開に大きく舵を切る方向にあります。私たち宿泊産業では「全国旅行補助」(GOTOトラベル)が再開すると情報が入ってきております。

例会も9月より再開しました。決定している行事の為決まなくてはならない事項が多く残っています。

本日は浅原ガバナー、稲葉地区副幹事をお迎えしての例会となります。地区の方向性をしっかりお聞きいただきたいと思ひます。

浅原ガバナーの地区運営方針は

「絆を深めて、ロータリー活動を再開しよう」

アフターコロナ、ウイズコロナの中、この3年間でできなかったクラブ活動を確実にやっていく、又この3年間に入会いただいた会員にロータリー活動を実感していただく、事が重要と考えております。

今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

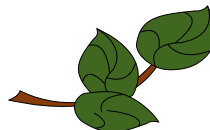
### 出席報告

	出席総数	出席率	ミーティング	出席修正率
前々回	46/52	88.46%	47/52	90.38%
今回	44/52	84.62%	会員総数	55名

欠席者 芦川君、桐部君、窪田君、小塚君、清水君、  
諏訪部(照)君、橋本君、渡邊君

### “こんにちは、ようこそ”

ゲスト 第2620地区ガバナー 浅原諒蔵君(静岡RC)  
地区副幹事 稲葉雅之君(伊東西RC)  
第1グループガバナー補佐 遠藤正幸君  
ガバナー補佐事務局 三田明宏君



### 幹事報告

幹事 古屋英将君

- ①本日はガバナー公式訪問です。浅原ガバナーにお話しいただきます。
- ②本日も感染症対策にてお弁当の持ち帰り、9月22日は今のところ会食を予定しています。
- ③10月16日(日)の見晴フェスティバルは中止になりました。例会日として予定しているため、変更後の内容については、改めてお伝えします。
- ④地区大会が11月6日に静岡市にて行われます。登録締め切りは9月22日です。
- ⑤IMに付いて、前回の例会で2月4日に変更とお伝えしましたが、再度修正をお願いします。2月4日→未定(4日か5日)。詳細が決定次第、正式に案内します。
- ⑥次回は9月22日(木)12時30分～卓話 芦川さんです。よろしくお祈りします。

浅原諒蔵ガバナー

今年度、ガバナーを務めます浅原でございます。本日は三島西クラブを公式訪問させていただく機会を得ましたことに感謝申し上げます。公式訪問するに当たり、可能な限り合同例会ではなく一つずつ訪問させていただきをお願いをしましたが、それは地区内74クラブあれば74通りの例会の進め方があることを体験したかったということと、各クラブご自慢の美味しい食事を出来るだけ味わいたかったからです。

さて昨年の小林年度に引き続き、私の年度も残念ながらコロナ禍のためPETS、地区研修・協議会をリアルで開催できませんでした。特にPETSは各クラブ会長に直接、RI方針やRIテーマについて説明する良い機会となる筈でしたが、適いませんでしたので本日、時間の許す限り丁寧にお話ししたいと思います。

今年度、ジェニファーRI会長のテーマは「イマジンロータリー」です。これはロータリーといえども時代の流れ、変化に無縁ではなく時代に即したロータリーをイマジンして下さいという呼びかけです。ロータリーの本質は変わらないものの、新しいクラブの設立や受け入れ、DEIといった考え方がそれにあたります。

新しいクラブの設立を提唱するのは従来型のクラブでは、入会を希望しても仕事の都合などで、それが合わない人達を迎えるための工夫です。そしてRIはDEIを今年度の最優先事項に位置付けています。ただ多様性、公平さ、インクルージョンと言っても我々、日本のロータリーには理解づらいと言いますか、馴染みにくいと言った側面がありますが、それを分かり易く話をすることがガバナーの役割と考え、DEIに附いてお話ししたいと思います。

DEIのD、ダイバーシティ「多様性」の意味を「あらゆる背景を持つ人や、幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します」とRIは説明しており、そして「あらゆる」とは民族、人種、肌の色、言語、宗教等を指す訳ですが、この辺りが単一民族、単一言語の日本の社会にとって馴染みにくい部分ではないでしょうか。私はこれをもっと日本のロータリー向けに分かり易く「多様性」とは、一つは女性会員を増やすこと、二つ目は異業種、これまで自分達のクラブには居なかったような職業分類の人を会員として迎えましょう」と説明しています。会員候補者を企業経営者や弁護士、医者といった従来からある職業分類ではなく、もっと違う分野に新たな候補者を求めることが、日本のロータリーにとっての多様性と考えます。「公平さ」に附いては、改めて話すまでもないと思いますので、「インクルージョン」に附いて説明します。RIではインクルージョンを組織に所属する人、すべてを包み込むに受け入れることと定義しておりますが、分かり易く説明しますと、入会して何年が経過したから、あの会員には今年、〇〇を担当してもらうといった具合に年数で役割を決めることは、インクルージョンに反します。ロータリーに入会して何年ではなく、その人に適した役割、その人が力を発揮できる役割を担ってもらうことがインクルージョンです。

限られた時間に全てをお話し出来ませんので、ガバナー月信でも説明しておりますので、そちらも参考にいただければと思います。

最後に三島西クラブ様の益々のご発展をご祈念申し上げて、ガバナー公式訪問挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

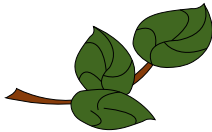
(週報担当:町野 暉)

## おめでとう

会員誕生日 酒井君、岩崎君  
入会記念日 矢岸君、町野君、室伏君

## スマイルボックス

- ◆千葉君、先日は義母の葬儀に際し、格別なるご厚情を賜り、誠にありがとうございます。ご案内が中途半端になり、ご迷惑をお掛けしまして申し訳ありませんでした。
- ◆諏訪部(敏)君、なんとなく。



## 表彰



RLI終了バッジ贈呈  
花房孝光会長 古屋英将幹事